

女性研究者の活躍促進のために

日本が国際競争力を維持・強化し、多様な視点や発想を取り入れた研究活動を活性化するためには、女性研究者の能力を最大限に発揮できるような環境を整備し、その活躍を促進していくことが不可欠です。

国では、そのために、科学技術・学術分野における政策・方針決定過程への女性の参画の拡大を図り、女性研究者が研究と出産・育児・介護等を両立し、研究を継続するための保育支援、研究支援、復帰支援、慣行の見直しなどの環境整備の充実など、女性研究者が働きやすい環境を醸成するとともに、女子学生・生徒の理工系分野への進路選択を支援に取り組んでいます。

科学技術・学術分野における女性の参画拡大



女性研究者の採用拡大

研究機関の取組状況等の公表や研究機関における採用・登用及びその活躍を促進するよう働きかける

女性研究者を支援する環境づくり



女性研究者研究活動支援事業

女性研究者が出産・子育て等と研究を両立するための環境整備を支援

将来の進路を考える女子中高生へ



女子中高生の理工系進路選択を支援

科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流等、女子中高生の理工系進路選択を支援

まとめ

今回、研究者として歩んでこられた3人の女性をご紹介します。

2月のサンエールフェスタ2013では、鹿児島大学と連携してワークショップ「『Museカフェ』～女子大学院生に聞く、鹿大ナウ!～」を開催し、6人の女子大学院生が自分の研究や学生生活について発表しました。水産学部の実習船での研修やナノ粒子の研究などいきいきとして説明する女性たちのこれからの活躍が楽しみです。

研究を続けることには、様々な困難はあるものの、喜びや達成感など得難い魅力があることを感じました。また、少しずつ環境が整ってきています。学生の皆さん、自分らしく活躍する身近なモデルを参考に、「リケジョ」を目指してみませんか!



事業報告

長時間労働から転換してワーク・ライフ・バランスを

男女共同参画講演会で勝間和代さん

サンエールフェスタ2013の男女共同参画講演会が2月2日(土)、サンエールかごしまであり、「私スタイルでを見つけるワーク・ライフ・バランス」のテーマで経済評論家の勝間和代さんが講演。「長時間労働を良しとする価値観を転換し、時間当たりの生産性を向上させ、女性が子育てしながら働ける社会の構築が大切」などと語りました。

勝間さんは、若者に対する過少投資を改めるとともに、男女とも働きながら子どもを持てるようにしないと少子高齢化に歯止めがかからず、日本の人口は減少し続け、国際競争力を失っていくと指摘。そのうえで「少子化対策と男女共同参画とは裏と表の関係で、少子化に歯止めをかけ、男女共同参画を進めるためには、働く人たちの時間当たりの労働生産性を上げ、ワーク・ライフ・バランスを図るところにしか解決策はない」と語りました。

また「男女が交ざって、お互いを補完し合うことでさまざまなリスクに対応できる。女性の活用は企業の業績アップにもつながる」とし、企業での男女共同参画の重要性を強調しました。

さらに日本の労働生産性が主要先進7カ国で11年連続最低

であることを紹介。「長時間労働こそワーク・ライフ・バランスや男女共同参画を妨げる最大の要因。長時間労働を良しとする価値観を転換し、時間当たりの労働生産性を上げることが大切。女性だけでなく、男女とも早く帰れる職場にしなければいけない」と語りました。

北欧諸国の経済政策についても言及。物価を緩やかに上げることで生産性の向上につながり、企業には自由競争をさせる一方で、失業者には政府が手厚い保護と教育訓練を行い、女性が子育てしながら働ける社会づくり、女性の管理職への登用を義務化していることなどを紹介しました。

最後に、まとめとして①働き方について価値観を転換し、一人一人ができることを地道にやっていく②その上で、「男女共同参画が競争力を増す」「ワーク・ライフ・バランスは自然なこと」とする空気を企業内につくっていく③ただし、怒らない・ねたまない・ぐちらないで、できる範囲で少しずつ進めていく-ことを呼びかけました。



2月1日(金)～3日(日)のサンエールフェスタ期間中は勝間和代さんの講演会のほか、映画上映会、ワークショップなど様々な催しが行われました。

親子でおもちゃを作って遊ぶ



人生の秋季について語り合うしゃべりカフェ



トラウマからの回復は社会の責任

女性への暴力を考える講演会



女性の性暴力被害者支援について語る井上摩耶子さん

「『女性への性暴力』と被害者支援」のテーマで11月23日(金)、サンエールかごしままで講演会が開かれました。女性に対する暴力をなくす運動期間(11月12～25日)の催しで、約40人が講師の話に熱心に聴き入っていました。

講師は、性暴力・DV被害者のための法廷での代弁・擁護活動に取り組んでいるウィメンズカウンセリング京都代表の井上摩耶子さん。井上さんは、性暴力・DVの被害者は圧倒的に女性で、どこにも誰にも相談しない人がDVで約4割、性暴力で約7割に上る実態などを紹介。性暴力被害者へのカウンセリングの役割として

①「私は被害者なのだ」という認識の獲得 ②「強姦は私への人権侵害であり犯罪なのだ」という認識の獲得と告発するという自己決定 ③被害者への心理的・医学的サポート ④トラウマ体験によるPTSD(心的外傷後ストレス障害)からの心理的回復 -などを挙げました。

また、「トラウマからの回復は個人の責任においてではなく、社会の責任においてなされるべき」と強調。最後に「自分の力を取り戻した被害者は、強姦加害者や強姦を容認している社会と闘い、社会的正義やジェンダー正義を追求することで社会的回復を実現していく」と締めくくりました。



たくちゃんのおてちき語いもんそワーク・ライフ・バランスマイル

「たくちゃんのおてちき語いもんそ ワーク・ライフ・バランスマイル」が11月18日(日)に開催されました。

タレントの野口たくおさんが「笑うことで免疫力も高まり、健康になれる」「他人を変えるのは難しいが、自分は変わ

れる。生活の中にもっと笑いを取り入れれば、円滑な人間関係を築ける」など「笑い」の大切さをユーモアたっぷりで力説。訪れた皆さんも、すっかり野口さんのペースで、120分間笑いの絶えないディスカッション会になりました。

